



平成 22 年 1 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社ジパング・ホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 田 端 一 宏  
( J A S D A Q ・ コ ー ド 2 6 8 4 )  
問 合 せ 先 取締役管理本部長 亀 田 学  
( T E L : 0 3 - 3 4 7 4 - 3 6 1 1 )

当社米国子会社所有の金鉱山鉱量計算結果  
並びに第三者機関による報告書受領のお知らせ

当社は、100%子会社である米国法人ジパング・インターナショナル(Jipangu International Inc. 代表取締役社長 谷 藤吉郎、本店所在地米国コロラド州デンバー)を通じて所有する米国ネバダ州にある金鉱山、フロリダキャニオン鉱山及びスタンダード鉱山の可採粗鉱量(リザーブ)及び埋蔵鉱量(リソース)について、平成 22 年 1 月 15 日付で第三者機関による査定が終了し、報告書を受領しましたのでお知らせいたします。

当社ではこの可採粗鉱量及び埋蔵鉱量について、当社鉱山事業本部における重要な指標として定期的な調査、査定を経て定期的な開示を行ってまいります。

また、実際の生産計画に関しましては、その詳細が決定次第開示いたします。

記

当社では当社鉱山事業本部生産事業部に属する米国子会社ジパング・インターナショナルを通じてフロリダキャニオン鉱山及びスタンダード鉱山の 2 つの金鉱山を操業しております。

(平成 22 年 1 月 18 日時点においてスタンダード鉱山は休山中)

当社グループでは、上記 2 つの金鉱山の有する可採粗鉱量(リザーブ)及び埋蔵鉱量(リソース)について、2009 年中に行った探鉱結果等に基づき再計算を行い、当該計算について Mine Development Associates 社による査定を受けておりました。本年 1 月 15 日付で当該鉱量査定に係る報告書を受領いたしましたので、ここに改めてお知らせいたします。なお、当該報告書はカナダ証券法 National Instrument 43-101 に準拠しております。

2009 年 9 月 1 日現在、当社が確認した両鉱山の可採粗鉱量及び埋蔵鉱量は以下のとおりです。また、下記埋蔵鉱量(リソース)は予想鉱量を含んでおりません。

## 1. 鉱量(金量)

### ①単位:オンス

| 金山名         | 可採粗鉱量<br>(リザーブ) | 埋蔵鉱量<br>(リソース) | 合計<br>(リザーブ+リソース) |
|-------------|-----------------|----------------|-------------------|
| フロリダキャニオン鉱山 | 823,400 オンス     | 611,600 オンス    | 1,435,000 オンス     |
| スタンダード鉱山    | 242,600 オンス     | 41,300 オンス     | 283,900 オンス       |
| 計           | 1,066,000 オンス   | 652,900 オンス    | 1,718,900 オンス     |

### ②単位:トン

| 金山名         | 可採粗鉱量<br>(リザーブ) | 埋蔵鉱量<br>(リソース) | 合計<br>(リザーブ+リソース) |
|-------------|-----------------|----------------|-------------------|
| フロリダキャニオン鉱山 | 25.611 トン       | 19.022 トン      | 44.633 トン         |
| スタンダード鉱山    | 7.545 トン        | 1.284 トン       | 8.830 トン          |
| 計           | 33.156 トン       | 20.307 トン      | 53.463 トン         |

※1オンス(トロイオンス)=31.1035g(グラム)、1トン=1,000,000g

## 2. 金額換算

### ①ドル換算

| 金山名         | 可採粗鉱量<br>(リザーブ) | 埋蔵鉱量<br>(リソース) | 合計<br>(リザーブ+リソース) |
|-------------|-----------------|----------------|-------------------|
| フロリダキャニオン鉱山 | 930,853 千ドル     | 691,413 千ドル    | 1,622,267 千ドル     |
| スタンダード鉱山    | 274,259 千ドル     | 46,689 千ドル     | 320,948 千ドル       |
| 計           | 1,205,113 千ドル   | 738,103 千ドル    | 1,943,216 千ドル     |

※2010年1月15日ニューヨーク市場先物2月限終値1トロイオンス=1,130.50ドルにて計算

### ②円換算

| 金山名         | 可採粗鉱量<br>(リザーブ) | 埋蔵鉱量<br>(リソース) | 合計<br>(リザーブ+リソース) |
|-------------|-----------------|----------------|-------------------|
| フロリダキャニオン鉱山 | 84,530 百万円      | 62,787 百万円     | 147,318 百万円       |
| スタンダード鉱山    | 24,905 百万円      | 4,239 百万円      | 29,145 百万円        |
| 計           | 109,436 百万円     | 67,027 百万円     | 176,463 百万円       |

※2010年1月15日ニューヨーク市場終値1ドル=90.81円にて計算

上記金額換算数値は現在の市況に基づく仮計算であり、将来において変動いたします。

また当鉱量について、中長期にわたる1つの目安としての数値であり、実際の経済価値を示すものではなく、直接的に現在の業績に与える影響はございません。

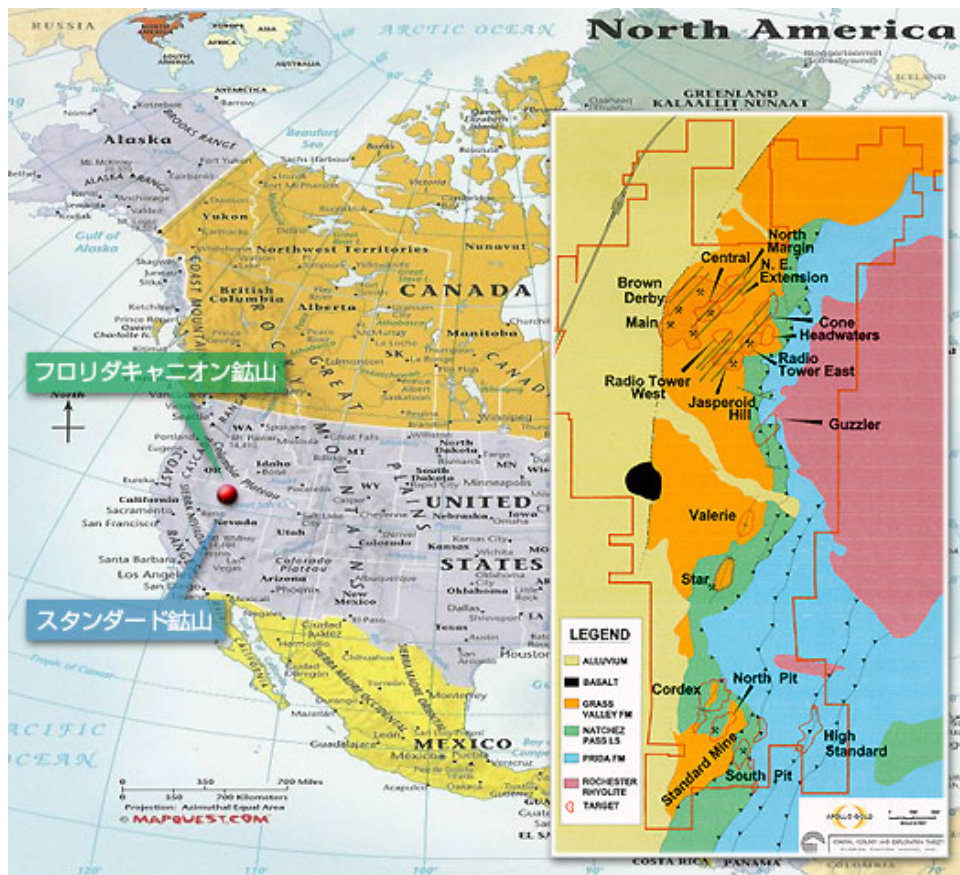
## 【ご参考】

可採粗鉱量及び埋蔵鉱量について 同鉱量について、鉱山の価値を決める重要な指標です。

|                     |  |
|---------------------|--|
| 可採粗鉱量<br>(金量・リザーブ): | 経済面や技術面での採掘可能性等を勘案した上で、出鉱が<br>予定される鉱石中に存する金の重量を指します。 |
| 埋蔵鉱量<br>(金量・リソース):  | 地殻中に現存する鉱床中に存する金の重量を指します。                            |

## フロリダキャニオン鉱山及びスタンダード鉱山について

現住所: Interstate 80, Exit 138, Imlay, Nevada, USA 89418 (米国ネバダ州)



## Mine Development Associates 社について

米国ネバダ州リノに拠点を置く、鉱山評価調査会社であり、カナダ証券法 National Instrument 43-101 に基づく鉱量査定報告書をレポートする資格を有しており、ネバダの業界で最も実績があり高く評価されている調査会社の一つであります。

## Mine Development Associates 社からの報告書について

当該報告書はカナダ証券法 National Instrument 43-101 の定める方法で Mine Development Associates 社によって実施されたものであり、当社はこの報告書を技術レポートとしてカナダ証券法に準拠する Canadian Securities Regulatory Authorities (カナダ証券業監督官庁) に提出することに利用しております。

以上